

埼玉県日本大学土木校友会会報 第2号

1 はじめに

会員の皆様こんにちは、昨年から校友会活動の状況を少しでもお伝えすることができればと、会報を作成いたしました。今回は2号目です。内容など至りませんが、趣旨をお酌み取りいただきご覧頂けると幸いです。

さて、本校友会は昭和40年に発足以来、今年で45年目になりました。会員数も約555名と、たいへん多く埼玉県の土木技術者の中心組織でございます。

しかしながら、最近は新入会員が少なくなってきております。一例を挙げれば埼玉県職員の採用試験ではこの3年間で合格者が2名だけです。今後が心配です。

ぜひ、会員の皆様には、まず土木を目指す学生を身近なところから勧誘する。次に埼玉県内に就職するよう働きかけていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

2 平成22年度の活動状況

○大学関係

平成22年は日本大学理工学部土木工学科が創設90周年の記念すべき年でありました。

9月11日には記念式典・祝賀会が盛大に行われ、記念誌の発刊もなされました。

これまでに3万人を超える卒業生を排出し、日本の社会基盤の整備に大きな貢献をしてきました。これからも優秀な後輩を送り出して頂きたいと思います。

母校の益々の発展を祈念いたします。

○幹事会 平成22年7月7日(水) (於) 大宮パイオランドホテル

幹事さんにお集まりいただき、平成22年度の名簿作成と会費の徴収をお願いすると共に、平成21年度事業計画と平成22年度事業計画(案)について説明いたしました。出席者は32人でした。

○役員会・幹事会 平成22年9月15日(水) (於) 大宮パイオランドホテル

役員と幹事さんにお集まりいただき、平成22年の総会議案(事業計画、予算、決算及び役員の改選について)をご審議いただきました。出席者は39人でした。

○平成22年度総会及び講演会 平成22年10月16日(土) (於) さいたま共済会館

総会



講演会



来賓として理工学部から安田陽一先生、理工学部校友会の轟幸雄監事、工学部の長林久夫先生、工学部校友会の村田良晴相談役、日本大学校友会埼玉県支部の前川雅義様をお招きし母校の状況についてご挨拶を頂きました。総会は21年度の事業報告と決算、22年度の事業計画と予算及び役員の改選を審議し、原案のとおり承認されました。

総会及び講演会の終了後、先生方を交え有意義に懇親会を実施しました。参加者は53人でした。ぜひ皆さん声を掛け合って大勢の参加をお願いいたします。

総会終了後、県監査事務局の有留忠明さんから「本庄新都心のまちびらき」についてご講演を頂きました。

上越新幹線本庄早稲田駅周辺開発のまちびらきが一週間後におこなわれることもあり、会員の皆様にタイムリーな情報を伝えることができました。続いて、川口市都市計画課の栗原明宏さんから「ようこそ川口」と題したご講演を頂きました。埼玉の表玄関でございます川口市は、各地で人口が減少する中で、まだまだ人口も伸びており、更に鳩ヶ谷市との合併も見込まれており、今、目を離せない街です。これらを踏まえ、近年の川口のまちづくりの取り組み状況などについて、お話を頂きました。

校友会は、官民間問わず一つ学舎の下で学んだ者達との技術の向上と相互の親睦を図ることが目的でもあります。講演会は、現場からの近況報告をいただき、ご参加いただいている諸先輩方からのご意見もいただき、技術の向上に活かせる有意義な会になったと思います。次回も皆様からの積極的な発表を期待しております。よろしくお願いいたします。

○現地見学会 平成23年2月19日(土) (於)群馬県安中市、富岡市



①碓氷峠鉄道文化むら

「碓氷峠鉄道文化むら」は平成9年に廃線になった、横川―軽井沢間の「碓氷線」の歴史を伝える鉄道資料館や、碓井線で活躍した各種電気機関車や特急「あさま号」を展示しています。また、国の重要文化財になっている旧丸山変電所や碓氷第三橋梁(通称・めがね橋)と一体となって貴重な文化遺産となっています。

見学会は2月で雪の影響もあり旧丸山変電所、碓氷第三橋梁(通称・めがね橋)は見られませんでした。貴重な電気機関車

の展示は一緒に行った子供達ばかりでなく大人も十分楽しめました。

②世界遺産の登録を目指している富岡製糸場

富岡市の「富岡製糸場」は明治5年、明治政府が日本の近代化のために最初に設置した製糸場です。「生糸の輸出振興と品質向上」を目的として、政府自ら模範となる製糸工場を造り、良質な生糸の作り方の見本を示したのです。

製糸場の建物はフランスの技術を日本の風土に合わせて改良し瓦や漆喰を使い、木材で骨組みをつくり、その間にレンガを積む木骨レンガ造で建てられました。この建築方法を用いた大型の工場は、世界にもあまり例がないそうです。

製糸場の建物はほぼ建設当時のままの状態でも良好に保存されています。日本の産業革命の原点、近代工場発祥の地として世界遺産の指定を目指しています。平成19年には世界遺産暫定リストに掲載されています。正式に指定されると良いですね。

当日はボランティアさんの案内により、1時間に及ぶ熱心な説明を受けました。説明と糸をつむぐ昔の機械を見ると、当時の工場働く女工さんの姿が頭に浮かびました。

この見学会は、会員の技術の向上ばかりでなく、土木技術や技術者に対する理解を深めていただくことを目的として、会員のご家族や友人にも参加を頂いております。また、親睦も兼ねております。参加者は51人でした。ご参加ありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします。